

グアテマラ経済（2011年12月）

平成24年6月
在グアテマラ日本国大使館

『12月の主な動き』

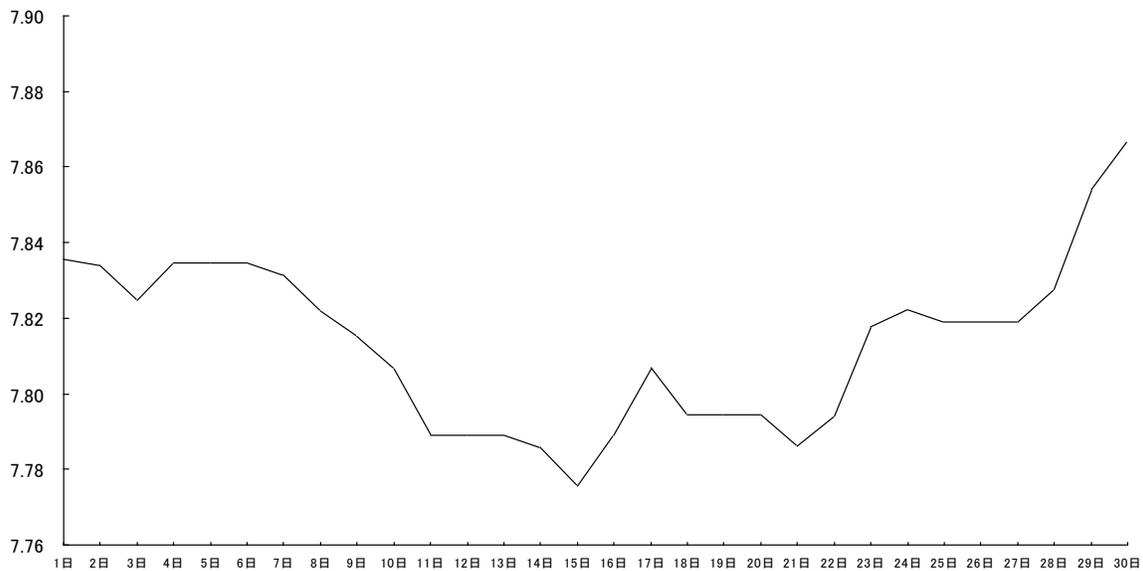
- 12月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.778~7.860の範囲で推移した。
- 12月、消費者物価指数は前年同月比で6.20%上昇した。
- 12月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、5ヵ月連続前年同月額を上回った。
- 22日、バルキン中銀総裁は、2012年の当国実質経済成長率見通しを2.9%~3.3%と発表した。
- 28日、コロン大統領は2012年1月からの最低賃金を引き上げることを発表した。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート（中銀）

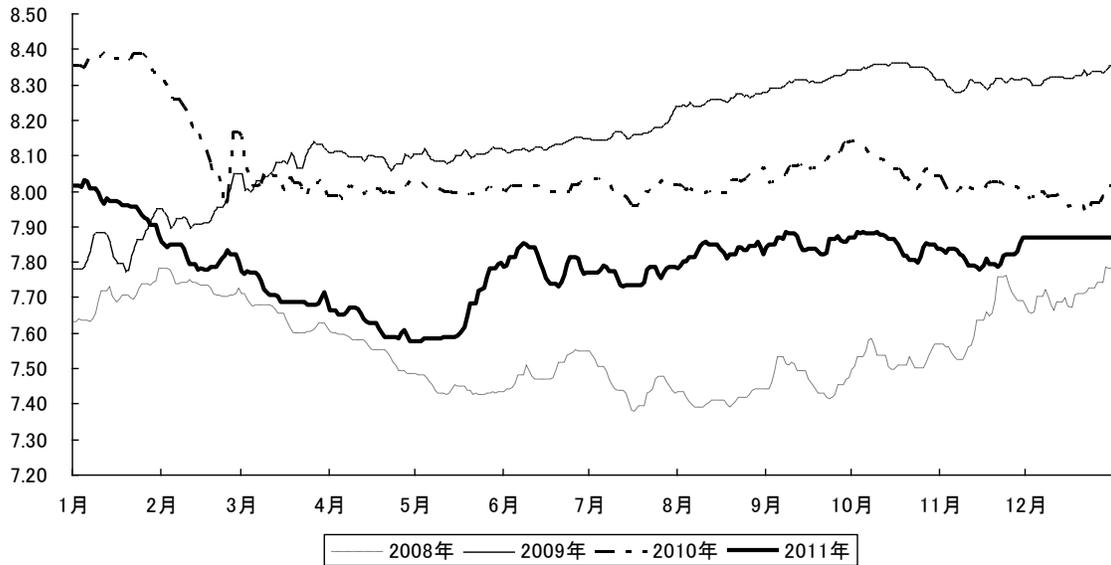
12月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.778~7.860の範囲で推移した。12月31日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.0495ケツアル高ドル安の1ドル=7.8108ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2011年12月



(出典：グアテマラ中央銀行)

ケツアル対ドル相場の推移：2008年-2011年

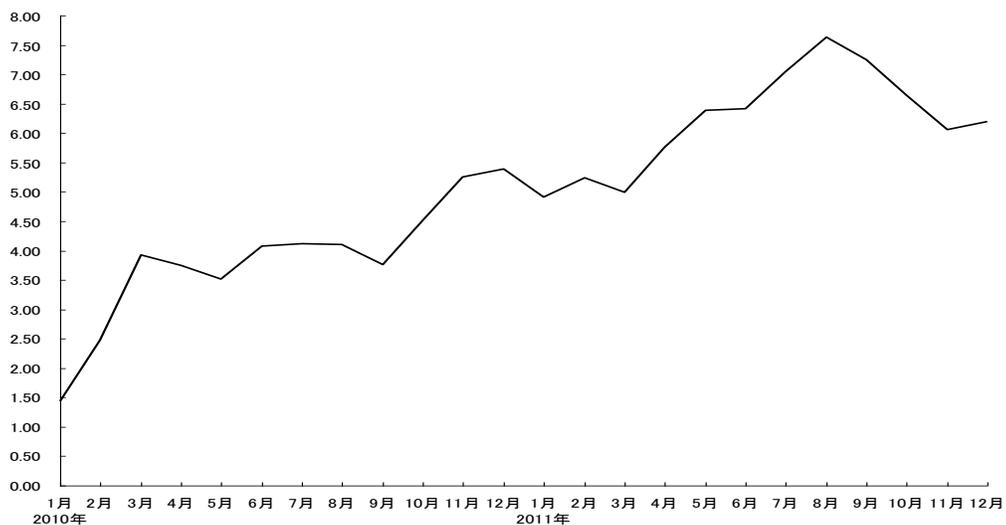


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数 (国立統計院)

12月、消費者物価指数は前月比で0.22%上昇した。また、前年同月比でも6.20%上昇した。

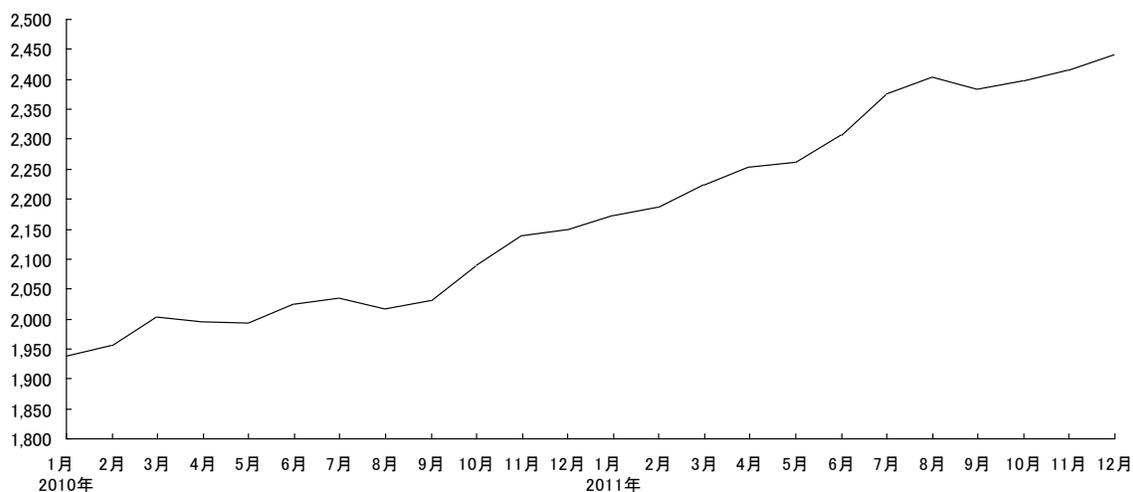
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2011年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目）価格は、前月比24.60ケツアル増の2,440.20ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2011年
（単位：ケツアル）



（出典：国立統計院）

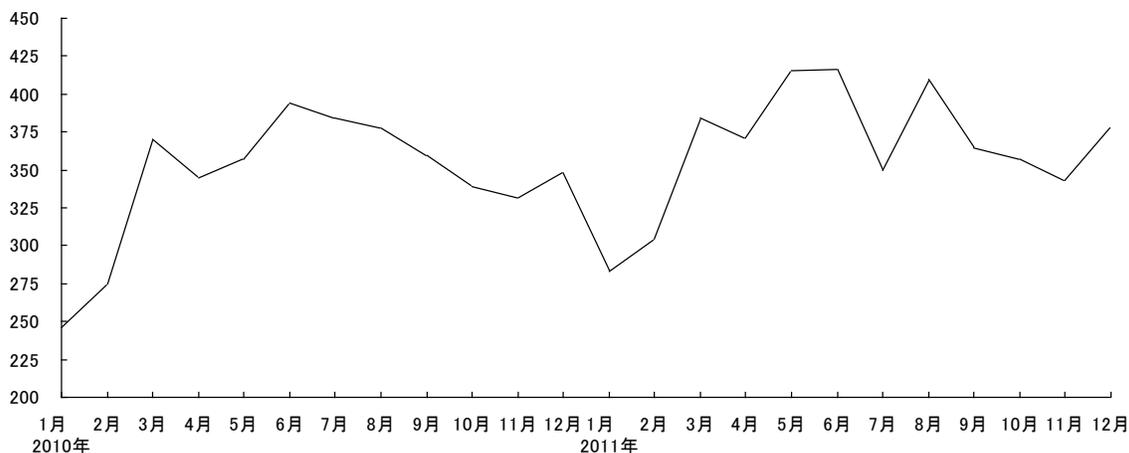
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比44.89ケツアル増の4,452.92ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金 (中銀)

12月、外国からの送金額は前月に比べ上昇した他、前年同月比8.62%増の3億7,847万ドルとなり、5ヵ月連続で前年同月額を上回った。

外国からの送金額：2010-2011年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

2. 国内経済トピックス

(1) 2011年11月までの当国の税収

当国政府によれば、本年11月までの税収は総額38,688.11百万ケツアルで対前年同期(33,092.5百万ケツアル)16.9%増となった。カブレラ中米税務研究院(Icefi)アナリストは、右は良い傾向であり、本年初めの見通しを上回る結果である旨述べた。

(2) 当国の対外債務残高

当国政府によれば、2011年11月までの当国の対外債務残高は、総額5,620百万米ドルに上る。右残高の主な内訳は以下のとおり。なお、括弧内は全体に占める割合。IDB:2,192百万ドル(39%)、世銀:1,348百万ドル(24%)、中米経済統合銀行(BCIE):1,067百万ドル(19%)、国際農業開発基金(IFAD):18.37百万ドル、石油輸出国機構(OPEC):15,23百万ドル、ユーロ債:630百万ドル(11.2%)、8ヵ国の協力機関:348.53百万ドル(6.2%)。

(3) 観光部門における外貨収入

8日、観光庁(INGUAT)は、本年1月~10月までに当国を訪問した観光客は1,502,433人、観光部門における外貨収入は対前年同期比3%減の1,109百万ドルであると発表した。なお、同外貨収入が減少した要因として、主にメキシコからの直行便の削減及び豪雨による影響を挙げている。

(4) 2012年の当国実質経済成長率見通し

(ア) 22日、バルキン中銀総裁は、2012年の当国実質経済成長率見通しを2.9%～3.3%と発表し、本年の成長率3.8%(暫定値)比で減速するとの見通しを示した。バルキン総裁は、右減速の主な要因として世界的経済不安に伴う中米諸国及び米国経済の需要の抑制を挙げた。一方、対外的には主要輸出製品の価格が引き続き良好で、海外送金も上昇傾向にある他、国内的には公共・民間消費が好調で民間投資の拡大と規律のある通貨政策及び財政政策の維持が期待されていることから、2012年の当国経済は全ての生産部門でプラス成長となる見込みとなっている。

(イ) 21日、CEPALは「Preliminary Overview of the Economies of Latin America and the Caribbean 2011」において2012年の当国実質成長率見通しを、本年の成長率予測3.3%よりも低い3.0%となる旨発表した。右要因として、世界的経済不安や右影響に伴う公共政策の遅れにより国内需要が未だ脆弱であり、輸出活動も抑制傾向にある旨挙げた。また、同報告書によれば、2012年の年間インフレ率は7.2%、対GDP比財政赤字率は2.9%。なお、中米諸国全体の成長率見通しは4.1%。

(5) 最低賃金の引き上げ

28日、コロン大統領は2012年1月から最低賃金を引き上げることを決定した旨発表した。なお、今次引き上げ後の各セクター別の一日当たりの最低賃金は以下のとおり。農業部門：68.00ケツアル(6.75%増)、非農業部門：68.00ケツアル(6.75%増)、マキラ部門：62.50ケツアル(5.13%増)。

3. 対外経済トピックス

(1) 世銀及びIDBによる借款

8日、当国国会は世銀(100百万米ドル)及びIDB(30百万米ドル)からの借款を承認した。世銀による借款は社会サービスプロジェクト関連の緊急支援に、IDBによる借款は当国の刑事司法における支援プログラムに充てられる予定である。

(2) 本年10月までの当国の輸出総額

当國中銀は、本年1月～10月までの当国の輸出総額が総額8,682.5百万ドルで対前年比25.3%増となったと発表した。主にコーヒー、衣類用品、貴金石・貴金属、砂糖及びバナナの各製品の輸出が本年の当国の輸出の増加を支えた。

(了)